

広島経済大学 広報

発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号 731-0192
電話番号 (082) 871-1000 代
ホームページ http://www.hue.ac.jp

- 2 面 興動館教育プログラムスタートから1年
- 3 面 メディアビジネス学科開設1年 活動報告
- 4 面 在学中に「からあげ専門店」オープン
- 5 面 卒業生就職活動体験記 成功へのアドバイス
- 6 面 平成19年度入学試験総括／人事

石田学園創立100周年

伝統受け継ぎ学生本位の教育へ



石田学園100周年について語る 石田恒夫理事長・学長

柱は興動館教育プログラム 体験と学びの両立貫く

本年一〇〇周年を迎える石田学園。その創立以来、「和を以て貴しと為す」を建学の精神とし、実学重視、社会に求められる人材の育成を教育目標に掲げてきた。そうした歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展させようと平成十八年四月にスタートしたのが「興動館教育プログラム」。このプログラム実現のために教職員の先頭に立ってきただけでなく、理事長・学長に話を聞いた。

石田 恒夫理事長・学長に聞く

本学園は、明治四十年に校祖石田米助によって創立されました。石田米助は当時興農商として成功した実業家でしたが、社会事業や慈善事業にも積極的で、私財を投じて石田学園を創立しました。

実学重視の伝統

残念ながら初期の石田学園に関する歴史的資料は、その大半が原爆によって焼失してしまいました。ただ「和を以て貴しと為す」という建学の精神と、社会で役立つ人材を育成するという

立つ人材を育成するという実学本位の教育理念は、創立以来受け継がれてきたものです。

そのため、広島経済大学が開学した当時も、理論よりも実学を重視するという教育方針がとられました。それは同時に、高度成長期の日本において、また地元中国において、経済に明

る、そして次代を担うにふさわしい人間性を備えた人材が求められているという社会的要請に応えるのもあったのです。

本学の開学当時は、ちょうど第一次ベビーブーム（戦後間もない頃に生まれた人々）で受験生が増加した時期であり、大学はたいへん苦勞もなく、学生を集めることができました。本学でも当時、学生のニーズに充分に応える教育ができていたのかどうか、反省すべき点も多いように思います。そうした反省や、日本の戦後の大学教育への疑問から、本学の教育改革は始まったとも言えるのです。私が学長に就任したのは平成六年。理事長を兼務するようになったのは平成十一年です。学長になったときに私は、もう一度日本の大学教育を見渡してみ、本当に学生の期待に応える教育を実践している大学がどれだけあるだろうかと考えました。そして本学の建学の精神、教育理念に立ち返り、本学の教育の中心を大きく変えていく必要があることを痛感したのです。

そして私が学長として打ちだしたのが、「JIS Study oriented」としては学生の「ために」というスローガンでした。まだまだ大学は「研究センター」とあるという教員が多い中、あえてこうした大胆な言葉をおつけることで、教員の意識を変え、教育の中心を変革・充実させていこうとしたのです。

平成十八年四月にスタートした興動館教育プログラムは、こうした本学の地道な教育改革のひとつの到達点でもありました。「元気が」「企画力」「行動力」「共生力」を培う興動館科目は学科の枠にとらわれず、誰でも履修することができ、授業のスタイルも多様で、先生方にも「どんな授業をしてもいい、元気がテーマの授業なら、必ず学生を元気にして授業を終えてください」と伝えています。

また、興動館科目で身に付けた知識を実際に行動に起こし体験してみる興動館プロジェクトの活動も盛んです。なかでもインドネシアの震災復興を支援するプロジェクトは大きな話題を呼び、また高校生だけでなく、

三月五日から五日間、岡本眞雄教授のゼミ生二十七名が地上戦が行われた沖縄を訪れ、犠牲者を追悼する慰霊巡礼を行って、岡本ゼミ主催の講演会を、戦艦大和の元乗員の体験を聞いたことをきっかけに企画された。青木悠さん（当時経済学科四年）（出雲商業高校出身）に振り返ってもらった。

う恥ずかしさです。戦争の悲惨さは語るまでもありませんが、そこに住む兵士の関係は無く、私たちの想像を絶する悲しみや苦悩、葛藤があつたのだと。それでも戦争に翻弄されながらも懸命に生きてきた姿がそこにあつたのだと思います。その方々の犠牲の上に今の私たちがいることを認識しました。戦争は遠い過去の出来事としてではなく、今に生き続ける悲しみとして抱き続け、受け止めていなくてはいけないうちだと思っています。

場所が語りかけてくるものを肌で感じる事ができました。私自身あまりの衝撃にそれを受け止めて切れてしまいました。全ての戦跡が、戦争とは何かをただ静かに、しかし強く訴えていました。



八重瀬岳白梅学徒隊が勤務した壕で黙祷する学生たち 撮影：田中正文氏

喜屋武岬にたどり着いた時には、うれしさと同時に重く複雑な心境でした。この巡礼を終えて、私たちの胸に残っているのは、日頃いかに戦争に対して無関心で無知であつたかという

思いです。教育の柱定まる

石田学園創立100周年記念事業

全面人工芝になった陸上競技場フィールド

もぜひ参加したい」という問い合わせをくださった高校もありました。こうした教育プログラムを貫く考え方は、「学んだことをすぐに体験してみる」「体験し（こ）から学びが深まり、人間の成長が生まれる」というシンプルなものですが、いくらシブな学説でも、ただ授業を聞いて頭の

中にしまっておくだけでは決して社会を生き抜いていく力にならないということ。順調に滑り出した興動館教育プログラムですが、その成果が現れるのはこれからです。ぜひすべての学生に、興動館教育プログラム

に積極的に参加してほしい。そして大学でひとつのことを仲間と一緒に「やり遂げた」という自信を持って卒業してほしい。この教育プログラムの成果が、卒業生たちの社会での活躍につながることで、私たちの目指していること

– 520 –

メディアビジネス学科開設4年

力をつけた学生たち 学び活かし多彩な活動

開設四年目を迎え、いよいよ最初の卒業生を送り出すことになる平成十九年度。メディアビジネス学科では、放送コンテンツや音楽コンテンツ、印刷媒体といった各分野の学びを活かして、本格的な制作・発表を行っている学生たちがいる。

校出身は、ゼミの仲間五人で「お好み焼きマップ」を制作した。きっかけは、本学の周辺にお好み焼きの「隠れた名店」がたぐさること。これらの情報を集めるとマップが作れるのではということになった。

早速メンバーは自転車や徒歩でフィールドワークに取り組んだ。エリアは、あくまでも本学の学生が歩いて行ける範囲とした。そしてリストアップされたのが十四軒。すいている時間帯を狙って飛び込み取材・撮影を敢行し、三千部を印刷するところまでこぎ着けた。

「親元を離れて生活する学生にとって、栄養もあって安いお好み焼きは欠かせないメニュー。地域に根付いたお店を知ってもらいたい」と古谷さんは語る。



お好み焼きマップを作った古谷さんら

お好み焼きのマップを作成 古谷さんら5名

古谷 純さん（四年・広島県・近畿大学附属東広島高等学校）

大学生活を体感 491名 入学前スクーリング

去る一月十四日、推薦入学予定者を対象に入学前教育「入学前スクーリング」を実施し、四百九十一名の参加があった。入学前教育は、推薦入学試験合格者が大学生活にスムーズに馴染め、大学での学びの方法を早く身につけられるよう用意されたプログラムである。

当日、午前はオリエンテーションの後、英・数・国の基礎学力を問う問題や図書紹介コンテスト応募のためのガイダンスを実施した。午後からは講義の聞き方、ノート取り方を学ぶポイントや英語練習や大学生との交流の他、入学までの学習案内など、三つの班に分かれて行われた。参加者は真剣なまなざしで講義を聞き、大学について様々なことを学んだ。

当日回収したアンケートからは「楽しかった」「興味がわいた」「参加して広島経済大学のことがよくわかった」などの感想があり、彼らの一足早い大学生活は充実したものであった。



ガイダンスの様子

平成19年度（前期） 広島経済大学 特別客員教授による教養特別講義日程

講義統一テーマ
「未来をつかむ」-自分を磨く-

学生に実社会を学んでもらうとともに、開かれた大学づくりの一環として開講している「教養特別講義」は、一般の方々も受講可能です。企業のトップをはじめ、文化・芸能分野などで活躍されている方々に各専門分野について講義していただきます。時間はいずれも13時から14時30分、場所は6号館G31講義室。

第1回 4月7日（木） 「自分の幸せは自分の力で掴む」 民秋 史也氏 株式会社アール・エス・ビー・ホールディングス 代表取締役社長	第2回 4月28日（木） 「『自分の幸せは自分の力で掴む』 三島 豊氏 三島建設株式会社 代表取締役社長	第3回 5月10日（木） 「『自分の幸せは自分の力で掴む』 岸井 成格氏 株式会社岸井建設 代表取締役社長	第4回 5月24日（木） 「『自分の幸せは自分の力で掴む』 重村 智計氏 重村建設株式会社 代表取締役社長	第5回 5月24日（木） 「『自分の幸せは自分の力で掴む』 桐山 勝氏 株式会社桐山建設 代表取締役社長	第6回 5月31日（木） 「『自分の幸せは自分の力で掴む』 八木 敏氏 株式会社八木建設 代表取締役社長
第7回 6月7日（木） 「この国が今、必要とするもの」 迫田 敏高氏 日本経済新聞社 編集委員	第8回 6月14日（木） 「危機管理は最大の福祉」 志方 俊之氏 香川県立警察 警務課長	第9回 6月21日（木） 「変化は、チャンス」 山西 泰明氏 株式会社山西建設 代表取締役社長	第10回 6月28日（木） 「グローバル・ジャパルの歩き方、時代の風をどう読むか」 浜 知子氏 同和建設株式会社 代表取締役社長	第11回 7月5日（木） 「健康長寿をめざして」 不破 亨氏 株式会社不破建設 代表取締役社長	第12回 7月12日（木） 「安全経営に基づく経済発展」 田中 英成氏 株式会社田中建設 代表取締役社長



「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

また、学生と地域の方々との交流にもつながると考えた」と古谷さんは語る。

身もまた、本学の周辺地域をテーマに情報誌を発行した。A4判十六ページの冊子のタイトルは「いっぽ」。キャンパスから一歩、踏み出して、地域に親しんでほしいという願いが込められている。平成十八年八月に創刊し、企画・取材・撮影・編集・レイアウトをすべて八人のメンバーでやりきった。第二号は本年二月に発行する予定だが、手探り状態だった創刊号に比べ

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

ます。ジャンルにとらわれず、広経大から新しい音楽を発信していけたら」と森田さんは語る。

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

「RIRY & SCOTT」のメンバーほか（レコーディングスタジオにて）

HUEでの 思い出に

第20期STEP修了 9名がプログラム修了

去る二月一日、本学大会議室において第20期STEP（交換留学生短期受入プログラム）の修了式が執り行われた。今回のプログラムでは中国、ポランド、ドイツ、フランス、デンマーク、インドネシアの六カ国から九名の留学生が参加し、半年間の履修プログラムを終え、晴れてこの日を迎えた。修了式は、教職員やランゲージ・パートナー（日本語の学生学習補助員）

が見守る中、石田学長から修了証書が授与され、留学生たちは本学で半年の間に学んだ日本語で、思いの留学生活を振り返り、個人的なスピーチを披露した。最後に記念写真の撮影があり、式は和やかな雰囲気うちに終了した。

本学では、一九九七年から経済学や経営学と共に、日本語・日本文化を学ぶ短期留学生を、海外の姉妹校や提携校から受け入れており、今春また新たにSTEP留学生を迎える予定である。今後彼らがキャンパスに国際的彩りを添えてくれるとともに、本学学生との交流に期待したい。



半年間の履修プログラムを終えた9名の留学生ら

【在学生の皆さんへお知らせ】
STEP留学生のサポーター（ウエルカム交流員、ランゲージ・パートナー（日本語の学習補助員））を募集中です。詳細は、国際交流室（TEL 082-871-1002）にお問い合わせください。

店を営んでいるのは、松山英章さん。愛媛県、新田高校出身。大西哲平さん（愛媛県、今治東高校出身）・山崎真也さん（広島県・山陰高校出身）からあけ専門店は三人の何気ない会話からはじまった。三年生に進級したばかりの頃、就職についてそれぞれの思いを語り合った。いろ

と話すなかで、気の合う三人の考えは、いつの間にか一致していた。自分たちが店を立ち上げた。最初は三人とも軽い気持ちだった。三年次の夏、期休日に松山さんが大西さん、山崎さんとともに帰省して、二人にその味を紹介。店の盛り上がりや商品のおいしさに感心した二人は、松山さんは、当日の感激を「この味なら広島でも人気

が見守る中、石田学長から修了証書が授与され、留学生たちは本学で半年の間に学んだ日本語で、思いの留学生活を振り返り、個人的なスピーチを披露した。最後に記念写真の撮影があり、式は和やかな雰囲気うちに終了した。

在学中の2月にオープン 力を合わせ夢実現 「勝負はこれから」と闘志



「味には自信」と張り切って働く松山さんら

開店に向けて三人は高知の店で延べ九十日間の修行に取り組んだ。衛生管理から仕込み、調理、接客、後片づけに至るまで、事細かにノウハウを学んだ。一方で店舗探しは難航した。立地条件や賃料などを考慮しながら十以上の物件を見て回り、探し始めて半年以上経ってからの現在の物件に出合った。もともと大改装が必要だった物件は、工費を少しでも浮かそうと、三人は工事を手伝った。そして、いよいよオープン。二月二十七日のオープンを先駆けて、二十五、二十六日に全品を半額で提供する「オープン祭り」を開催した。事前に街頭で配ったチラシの効果もあって、オープン祭りは大盛況に終わった。

「自分たちも驚くほどたくさんのお客さんが来てくれて、やっていけるといふ手応えを感じました」。松山さんは、当日の感激を「この味なら広島でも人気

広島市中区立町五七
〇八二四二二九
年中無休
営業時間 午前11時～午後8時



プレオープンでにぎわった「ちびから本舗立町店」

サークル戦績

●競技スキー部
▽第22回全日本学生アルペン大会「男子大回戦」鉄増信也＝10位・岡田真＝15位（男子回戦）岡田真＝16位・鉄増信也＝33位▽秩父宮杯・秩父宮杯杯・寛仁親王杯杯80回全日本学生スキー選手権大会（SL）岡田真・鉄増信也＝14位（GS）岡田真＝25位・鉄増信也＝21位

第40期学生会役員
会長 島本昌浩▽副会長 中村大輔▽副会長 福本薫▽財務部長 宗森麻紀子▽書記部長 戸井持史▽厚生部長 兼 献血推進委員長 駒本秀行▽情報部長 藤村俊介▽渉外部長 菊川尚典▽学内対策部長 兼 マナー向上委員長 福田愛弓▽文化局長 佐々木雄一郎▽体育局長 弘田哲也▽大祭実行委員長 楢垣光平

私のゼミナール 雑感

49

大田 孝太郎

しばらくゼミナールは持たなかったが、二年前から再度ゼミを持させていだいて。学生との付き合いも少しは慣れた。これからはゼミナールが、大いに役立つ。これは、これからが本場の勝負です。三人で協力して、二倍、三倍と客数を増やせるように頑張っていきたい」と熱く語った松山さん。三人は、大学で学んだ行動力で全力

日常の身近な問題を考えていく中で、社会の問題を自分の問題としてとらえる力を養うことである。社会科学の究極的意義は、自分をも含めた社会の幸福の増進にあるだろう。

経済学者のマッシュルは、経済学をこれから学ぶという問いを学生とともに心の片隅にたえずとどめながらゼミに臨み、とどめを思っている。そうしてはじめて、読書力や文章能力、プレゼンテーション能力をみがき、意味もものなるのである。よりゼミの目的とするところは先生方によって異なるであろう。私も肩肘はらずに学生たちとお互いに思いの残るゼミになるように精進したいと思っている。

社会科学学ぶ 意味を求めて



【教授 哲Ⅰ・Ⅱ、思想の世界Ⅰ、基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、外国経済講義ほか】

CIRCLE・INFO!

アカペラ同好会 ～BBQ～ Bright Beat Quality



練習日・時間／メンバーの都合に合わせて決定
場所／第2クラブハウス内にある第2階
活動／入声式、各種イベント、定期演奏会ほか

声のぬくもり感じて

BBQが誕生したのは2005年。歌が好きなメディアビジネス学科の学生が中心となって結成しました。現在、メンバーは23名、うち5名が女性です。BBQには2つのグループがあり、一つは2年生男子のグループ「がむしゃら」。もう一つは3年生の男女混合グループ「BBQ」です。「がむしゃら」の特長はバワフルでチームワークがいいこと。レパートリーは「勝手にシンドバット」をはじめ3曲ありますが、残念ながら、いまだステージに立ったことがありません。というメンバーが徹底した完璧主義者だからです。歌を自分たちのものにしてから披露したいと日々練習に取り組んでいます。一方の「BBQ」は、ユニークなトークを交えたストーリー性あるステージが魅力。曲は最新のヒットソングから懐かしいメロディーまで幅広く歌います。昨年度は、入学式や地元イベント、学内の音楽系サークルと合同で行った定期演奏会、オープンキャンパスなどで日頃の練習の成果を披露しました。また、卒業式の謝恩会では、2年生、3年生合同のグループを結成。「仰げば尊し」を歌いました。卒業生や教職員が目にと感動しました。今年度はBBQ単独の定期演奏会を開催するのが目標です。

歌う者にも聴く者にも人の声のぬくもりを感じさせてくれるアカペラ。歌が好きな人、アカペラに興味のある人、注目されたい人、モチたい人、ぜひBBQの部屋に遊びに来てください。

